

『喜びと恵みに魅かれて』 使徒の働き2章40～47節 2018.5.27 聖日説教より

『あなたがたを、つまずかないように守ることができ、傷のない者として、大きな喜びをもって栄光の御前に立たせることのできる方に…』ユダ 1:24～25

①**喜びと真心にあふれた交わりと讚美(2:46)**…初代教会の人々は、非常な喜びと純粋な心で交わり、神を賛美していた！クリスチャンの最大の特徴は、神を喜び、たたえる姿！『主を喜ぶことは、あなたがたの力(ネヘミヤ 8:10)』。どんなに辛い時でも、神様は喜べるのでは？そもそも、恨み言や文句を言いながら賛美はできない！賛美は、いつも前向きで肯定的！聖霊なる神は、神の圧倒的な恵みを思い出させ賛美へ導く！ダビデは多くの詩篇で、嘆きのどん底から「しかし主よ！あなたは私に答えてくださいます！あなただけは信頼できるお方」と叫ぶ！その信仰はテコの原理で、どん底の気分を恵みの高嶺へ引き上げる！（3:1～8、22:1～5、31:9～14、69:1～16 等々…）！

②**恵みに魅かれて(2:47)**…『すべての民に好意を持たれた』とは、「(クリスチャンが)全ての人にとって、カリス(恵み、優しさ)だった」の意！教会は、雰囲気が良い以上に、世の人に手渡す神の恵み(魅力)を一杯持っている！救いを喜び、神をたたえる者こそ、永遠の御国への道しるべ！世の人が知らない創り主の愛、罪(悪魔)の支配からの解放、与えられた自分や隣人の命の尊さ、大切さ…」を伝えるのはクリスチャンだけ！その神と救いを喜ぶ笑顔が溢れる教会は、自然と健全に確実に成長している！ジョン・ピルド師『教会は祈りで建てられる』の中に、教会の祝福の鍵が二つ！第一は、神がどういうお方かを握り信じて祈ること！主は私たちを救い導く祝福の神！目の前の厄介な現実より、その問題の向こうに立たれる全能の主を見上げる時、ご聖霊は働かれ、「人には出来なくても、神には出来る(ルカ 18:27)」と大胆に信じて祈れる！②第二の鍵は、「教会の霊的一致」(ピリピ 2:2～3)。クリスチャンの一致点とは？私たちが神の似姿に創られ愛されながらも、その方から離れた罪人だったこと。そして御子イエスの贖いを信じて救われ御許に立ち返ることが出来たこと！この救い以外の一致はない！創り主の愛をただ信じ、罪からの救いに感謝し、その神の栄光を、ただほめ称えるのみ！

★神にも人にも愛され喜ばれ、世の人たちからも認められ好感も持たれ、『入ってもいいですか？』と、(かき集めなくても)、人が集まり、救われ、みんなが笑顔になり、笑い声が地域に広がる教会になれるようにと、心ひとつにされて祈りたい！